

向日市 広報

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
1 きれいな緑と水と空を守りましょう
1 働くよこびと心のふれあいを大切にしましょう
1 すぐれた教育と文化を育てましょう
1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



秋市長

二十一世紀にむけて明るい展望が開けるまちづくりを

予算編成方針

昭和五十七年度の国の予算は、財政再建をめざし、経費の徹底した節減合理化を行い、伸び率の低い超緊縮予算となつています。本市においても、昭和五十五年度から四か年の財政健全化計画を策定し、歳入の安定的確保と歳出の抑制を図っているところですが、本市の財政事情は、市税などの大

57年度予算案

総額116億6千万円に

予算規模

昭和五十七年度当初予算案の規模は、一般会計七十七億七千八百万円、特別会計(下水道・国保・農業共済)二十二億四千五百八十八万一千円、水道事業会計十六億四千九百九十一万八千円、あわせて百六十六億六千五百七十七万九千円となり、この結果、前年度当初予

一般会計

算に比べ、一般会計で約十億七千万円(二三・四%)増額で約二十二億二千万円(二三・五%)の増となつています。また、市民の暮らしの周辺の環境整備、市民生活の身近なものとして、道路・水路および公園整備や街路事業(久世・北茶屋橋)を積極的に進め

都市基盤や都市的施設の整備と福祉施策の向上をめざして

昭和五十七年度の予算案がまとまり、八日から開会されている三月定例市議会に提案されています。予算案総額は百六十六億六千五百七十七万九千円、市民が安心して暮らせる福祉と文化と教育のかけ高い都市の建設をめざした予算案となつています。

算に比べ、一般会計で約十億七千万円(二三・四%)増額で約二十二億二千万円(二三・五%)の増となつています。また、市民の暮らしの周辺の環境整備、市民生活の身近なものとして、道路・水路および公園整備や街路事業(久世・北茶屋橋)を積極的に進め

行の福祉水準を確保するとともに児童福祉では、保育行政および母子福祉の充実などに努め、また高齢化社会に対応する老人福祉についても生きがいをもつて市独自の施策を進めてまいります。また、「向日市障害者の日」を制定し、なお一層の障害者福祉の充実を期します。また、市民の健康増進を図る観点として、保健センターの建設を行います。また、市民の健康増進を図る観点として、保健センターの建設を行います。

おもな新規事業

- ゲートボール場の新設
向日市障害者の日制定
実行委員会に助成
市民の暮らしの周辺の環境整備
新しい総合計画の策定とその要約版の発行
救助兼用消防ポンプ自衛消防団の発足
保健センター建設調査
乙訓休日応急診療所の運営負担
教育と文化のかけ高いまちづくり
森本公民館建設にかかわる設計委託料
森本遺跡の整備
西ノ岡丘陵でトリムコースの新設
市民体育館建設を含む運動公園基本調査
国体向日市準備委員会に対する補助
第二留守家庭児童会館の改築
市の歴史的な発展の足跡を明らかにする向日市史上巻の発刊
市勢要覧発刊(全戸配布)

特別会計

下水道会計 10億4988万円

国保会計

11億8370万円

国民健康保険事業は、新年度では、任意給付として、助産費、葬祭費の給付増額、人間ドック健康診断事業の人数の拡大、また新たに主婦ドック制度の実施など給付面の改善を、同時に、今後の医療費の動向により、国保財政の健全化に努めます。

農業共済会計

1227万円

農業共済事業は、五十六年度から、農業経営における不慮の事故により受ける

水道会計

16億4191万円

市民の方に、安定した水の供給ができるよう、昭和五十六年度から四か年継続事業である第八次拡張事業も二年目を迎え、昭和五十八年度に一部通水ができるよう新浄水場建設等積極的

不在者投票制度の利用を

4月11日は、京都府知事選挙の投票日です。当日、投票所へ行って投票できない人(仕事、入院予定、やむをえない用事など)は、3月17日から4月10日までの間、日曜日、祝日関係なく、午前8時30分から午後5時までの間、不在者投票ができますので、印鑑をもって市役所へお越しください。

隣にも声かけあってよい防火

3月の声を聞くと寒気もゆるみ、晴れた日などは、窓をあけて春風を入れたくなります。でも、こんな季節は火災のシーズンでもあります。ストーブもつけたり消したりの繰り返しが多くなり、また開けた窓のカーテンが風に揺れて火器に触れたりして、火災の要因がいっぱい。それに卒業、入学、進学、結婚式などで家を留守にする機会が多くなります。火の取り扱い、後始末には一段と気をつけてください。

